

Security Dayの歩み

NPO日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)
有限責任中間法人 JPCERT コーディネーションセンター
Telecom-ISAC Japan

やすだなお

Security Dayへの歩み

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
JNSA	独自	独自	独自	SD	SD	SD	SD
JPCERT/ CC	独自	独自	独自	SD	SD	SD	SD
Telecom- ISAC						SD	SD

閉じる

- 2000年
- JNSA
セミナー

M11 : JNSA大阪セキュリティセミナー

日時・会場	12月20日 09:30~17:00
主催	日本ネットワークセキュリティ協会
定員	300名
参加料	通常料金 会員 3000円 一般 5000円
会員割引対象	JNSA会員
内容	◆プログラム◆

午前の部: 基調講演「IT革命と情報セキュリティ政策」
 通産省情報セキュリティ政策室長 東井 秀隆氏

IT革命と呼ばれる経済社会の大変動は、インターネットを用いたオープン環境下でのネットワークコンピュータリングを基礎としています。
 このようなデジタル社会は、同時に新しい脅威にさらされている社会であり、今日、情報セキュリティ問題は世界的な課題となっています。このような新しい時代における、情報セキュリティの国際的な議論の動向を紹介しつつ、今後の政策の方向を示します。

9:00-
 受付開始
 9:30- 9:45 (15分)
 「JNSAのご紹介」(会員へのお礼) 0 下村事務局長の挨拶
 9:50-11:30 (100分)
 基調講演「IT革命と情報セキュリティ政策」
 11:30-12:40 (70分)
 昼休み

午後の部: 「JNSA技術部会ワーキンググループ(WG)」の活動内容紹介と中間発表

12:40-13:05 (30分)
 相互挨拶WG
 WGリーダー 松島正明氏/新日鉄情報通信システム
 13:05-13:20 (15分)
 セキュリティ評価WG
 WGリーダー 西本達郎氏/ラック
 13:20-13:40 (20分)
 技術研究・技術用語WG
 WGリーダー 佐藤廣浩氏/日本HP
 13:40-14:00 (20分)
 不正アクセスWG
 WGリーダー 桂川昌治氏/日新電機
 14:00-14:20 (20分)
 セキュリティポリシーWG
 WGリーダー 三輪信雄氏/ラック
 14:20-14:40 (20分)
 休憩

講演
 14:40-15:40 (60分)
 「ネットワークセキュリティの基本設計」
 丸山英史氏/ティアイティ
 15:40-16:50 (70分)
 「PsecにおけるNATアドレス変換の問題点と解決技術」
 (デュアルIP・Jメール・ナル氏/SSHコミュニケーションズ・セキュリティー)
 プログラムご紹介URL: http://www.jnsa.org/seminar_wg2000.html

問合せ先 日本ネットワークセキュリティ協会
 E-Mail sec@jnsa.org

閉じる

- 2000年
- JPCERT/CC
セミナー

閉じる

M8 : JPCERT/CC Seminar 2000

日時・会場	12月19日 14:00~17:00
主催	JPCERT/CC
定員	300名
参加料	通常料金 一般 10000円
内容	JPCERT/CCに寄せられたコンピュータセキュリティインシデント（以下インシデント）のレポートの分析をもとに現状のインシデントの傾向および対策などを報告する。次にインシデント発生時、JPCERT/CCへのインシデントレポートを作成するための具体的な手順について説明する。また、セキュリティに関連する最新の話題を取り上げてパネルディスカッションを行う。

(1) 講演

「JPCERT/CC 統計分析報告 - 2000 -」
 講師 白幡邦弘 (JPCERT/CC 副運営委員長)
 14:00-15:00 (予定)

JPCERT/CC が届け出を受けたデータを整理・分類して、届出情報に関する分析（インシデントの発生傾向、発見のきっかけ、原因経緯等）を行い、現状のインシデントの傾向および対策などについて報告します。本年最新のデータ分析に基づいて講演いたします。

(2) パネル

「常時・広帯域接続のセキュリティ ~ ユーザが直面する新たな危機」
 15:00-17:30 (予定)

常時・広帯域接続サービスの本格的な普及が間近に迫っています。しかし、こうした常時・広帯域接続サービスのユーザのマシンが、サイト攻撃などに悪用される危険性が懸念されています。こうしたユーザには、(1) どのような問題を回避すれば、安全に利用できるようになるのか、(2) 対策のポイント、運用上の課題などについて、パネルディスカッションを通じて考えてみたい。

モデレータ:

山口教授 (奈良先端大 / JPCERT/CC 運営委員長)

パネリスト:

鈴木裕信 (ソフトウェアコンサルタント)
 山崎優之 (NTTコミュニケーションズ IPネットワークサービスセンター)
 塩月誠人 (インターナショナル・ネットワーク・セキュリティ株式会社)
 松本直人 (Certworks.net)

対象者 インターネットの運用や管理に関わるすべての人々

閉じる

- 2001年
- JNSA
セミナー

3-7, December 2001 Pacifico Yokohama

Internet Week 2001

閉じる

M10 : JNSAセキュリティセミナー in IW2001

日時	12月6日 10:00 ~ 17:00
会場	小ホール
主催	NPO 日本ネットワークセキュリティ協会
定員	300名
参加料	通常料金 一般 5000円 会員 3000円
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演1「拡大するセキュリティ管理の役割と総合的対策に向けて」 京大先端科学技術大学院大学 山口英教授 ・基調講演2「情報セキュリティ 傾向と政策」 経済産業省 情報セキュリティ政策室 久米孝氏 ・JNSA技術部会ワーキンググループによるセッション <ul style="list-style-type: none"> ・CA相互接続WG (松本氏/セコムトラストネット) ・情報セキュリティ標準調査WG (佐藤氏/日本HP) ・不正アクセス研究WG (園田氏/アイティプロンティア) ・セキュリティポリシーWG (三輪氏/ラック)

詳細はこちらhttp://www.jnsa.org/active4_20011206.html

対象者	ネットワークセキュリティに関心のある人
問合せ先	日本ネットワークセキュリティ協会 http://www.jnsa.org/ 事務局 〒136-8741 東京都江東区新砂1-6-35 住ビル東陽町 5階5号アイティ内 TEL 03-5633-6061 FAX 03-5633-6062 E-Mail sec@jnsa.org

閉じる

- 2001年
- JPCERT/CC
セミナー

3-7, December 2001 Pacifico Yokohama

Internet Week 2001

閉じる

MM : JPCERT/CC Seminar 2001

日時 12月4日 14:00 ~ 17:00
会場 小ホール
主催 JPCERT/CC
定員 300名
参加料 通常料金
一般 7000円

内容 【第一部】「インターネットセキュリティの最新事情」
講演 JPCERT/CC 広報

JPCERT/CC に寄せられたコンピュータセキュリティインシデント(以下インシデント)のレポート分析をもとに現状のインシデントの傾向および対策などを報告する。引き続き、今年発行した「注意喚起」、「緊急報告」、「JPCERT/CC レポート」などの技術文書に関して、発行までの流れ、JPCERT/CC が行った検証内容などを報告する。

【第二部】「常時接続時代のセキュリティ」
チャーム 山口英 (JPCERT/CC 運営委員長)
パネリスト: 榎 明氏 (警察庁セキュリティシステム対策室長)
水越一郎氏 (NTT コミュニケーションズ, OONI)
小貫保樹氏 (マイクロソフト)

今年大きな被害を生んだ Code Red や Nimda などのワームに関して、ISPIOCN)、ベンダ (マイクロソフト)、警察庁からパネリストを招き、各組織が行なった対応などについてパネルディスカッションを行う。

対象者 インターネットの運用や管理に関わるすべての人々
問合せ先 E-Mail: office@jpcert.or.jp

閉じる

- 2002年
- JNSA
セミナー

閉じる

M4 : JNSAセキュリティセミナー in IW2002

日時	12月17日 10:00-17:00
会場	501
主催	特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会
定員	190名
参加料	通常料金 一般:5000円 会員:3000円
内容	ネットワークセキュリティに関する基調講演と、JNSAワーキンググループの活動を題材としたセッションを行います。

基調講演(午前) 90分

独立行政法人産業技術総合研究所 高木逸光氏

WGセッション(午後) 各90分予定

相互接続WG

「2002年の相互運用性と今後の無線LANセキュリティ」

島岡 政彦(セコムトラストネット株式会社)

任 康平(株式会社インターネット総合研究所)

インターネットVPN-WG

「HOTSPOTの有効利用:VPNでの社内接続

~VPN構築時の注意点と安全性の確保について」

大和 敏彦(シスコシステムズ株式会社)

PKI相互運用技術WG

「Challenge PKI 2002 とマルチドメインPKI」

松本 浩(セコムトラストネット株式会社)

不正アクセス調査WG

「不正アクセス手法のトレンド(仮題)」

園田 透夫(株式会社アイ・ティ・フロンティア)

*講演者・タイトルは変更する場合があります。

対象者 ネットワークセキュリティに関心のある皆様の方

問合せ先 NPO 日本ネットワークセキュリティ協会 <http://www.jnsa.org/> 事務局
 〒136-8741 東京都江東区新砂1-6-35 4ビル東陽町
 4階(ディアイティ内)
 TEL 03-5633-6061 FAX 03-5633-6062
 E-Mail info@jnsa.org

閉じる

- 2002年
- JPCERT/
CC
セミナー

閉じる

MIT : JPCERT/CC Seminar 2002

日時	12月19日 14:00-17:00
会場	501
主催	コンピュータ緊急対応センター
定員	100名
参加料	通常料金 一般:9000円
内容	【第一部】「JPCERT/CC 活動報告」 講演 JPCERT/CC 志願

JPCERT/CC のこの一半年間の活動内容を報告する。
特にアジア太平洋地域における CSIRT のフォーラムの発展に関して JPCERT/CC が積極的役割を果たしている活動について現状を報告する。

【第二部】「国内 CSIRT の連携」
チャム
山口英 (JPCERT/CC 運営委員長)

パネリスト:
大野浩之氏 (NRI 内閣官房情報セキュリティ対策推進室・緊急対応支援チーム)
熊澤雄次氏 (J-SEC7)
宮地利雄氏 (NEC)

昨年从今年にかけて、国内における CSIRT 連携の動きが活発になってきている。本セミナーでは、これらの CSIRT の活動報告とともに、JPCERT/CC を含む国内の CSIRT 同士の連携のあり方などについて、報告を交えたオープンなディスカッションを行う。

※ CSIRT (Computer Security Incident Response Team) は、「コンピュータセキュリティインシデント」に対応する活動を行う組織体の一般名称です。

【タイムテーブル】(予定)

14:00~14:30 【第一部】「JPCERT/CC 活動報告」

14:30~17:00 【第二部】「国内 CSIRT の連携」

14:30~14:40 開演挨拶 山口英 (JPCERT/CC 運営委員長)

14:40~15:05 「NRI において」大野浩之氏 (NRI)

15:05~15:30 「プライベート CSIRT」熊澤雄次氏 (J-SEC7)

15:30~15:40 休憩

15:40~16:05 「ベンダとしての CSIRT」宮地利雄氏 (NEC)

16:05~16:50 ディスカッション & 質疑応答

16:50~17:00 終了挨拶 山口英 (JPCERT/CC 運営委員長)

対象者 インターネットの運用や管理に関与するすべての人々
問合せ先 office@pcert.jp

閉じる

- 2003年
- Secyurity Day

共催

- JNSA
- JPCERT/CC

M7 : Security Day～技術だけでは守れない～

日時	12月3日 10:00-20:00
会場	5F 501
主催	特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 協賛責任者中興社 JPCERT コーディネーションセンター
定員	170名
参加料	参加料 一般:10,000円 会員:9,000円
内容	業界団体である JNSA と日本を代表する CSIRT である JPCERT/CC とのセキュリティセッション 10:00-10:10 開会挨拶 10:10-11:10 基調講演1 山口英先生「セキュリティ管理と高性能性秘蔵の構築」 11:10-11:50 JNSA 全体活動報告 11:50-12:30 JPCERT/CC 全体活動報告 12:30-14:00 昼休み 14:00-15:00 基調講演2 牧野二郎弁護士「おれから見たITセキュリティ」 15:00-15:40 JPCERT/CC 定点観測事業報告 15:40-16:00 休憩 16:00-17:30 JNSA WG 報告 (1)イーボット、セキュリティ被害調査) 18:00-20:00 BOF「おれな(い)直、オペレータの戦い」 今夏の CISCO ICS の脆弱性や Blaster/Nachi ワームの蔓延などを踏まえ、「オペレータにとっての脆弱性情報の活用」をテーマに会場の設備を交えたディスカッションを行なう。 モデレータ: 水越一郎 (JPCERT/CC) 登壇者(順不同): ミツ木絹子 氏 (NED) 白根 明弘 氏 (ネットワンスシステムズ) 佐藤 康浩 氏 (日本 HP) 寺田 真敏 氏 (日立/総務)
対象者	セキュリティ担当者 情報インシデント対応で悩んでいるエンジニアおよびセキュリティ全般に興味のある方
問合せ先	sec@cc-jpcert.or.jp

- 2004年
- Secyurity Day

共催

- JNSA
- JPCERT/CC

C3 : Security Day ～右手に技術、左手にポリシー、心に愛～

日時	12月1日 10:00-20:00
主催	特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 有限責任中間法人JPCERT コーディネーションセンター インシデント情報共有・分析センター
参加料	事前料金 一般 ¥8,000 当日料金 一般 ¥9,000 会員 ¥7,000 会員 ¥8,000
内容	<p>10:00～10:05 開会挨拶</p> <p>10:05～11:00 基調講演「変化するセキュリティ管理の現状」 奈良先端科学技術大学院大学教授 山口英 氏</p> <p>多くの組織では、IT化を進めてくる中でセキュリティ管理について何回も取り組みを深めてきました。しかし、最近になって、急激にセキュリティ管理の方法、目的、使用する技術などが変化してきています。同時に、その変化は経営運営にも大きく影響を及ぼすようになってきています。今日の講演では、どのような変化があり、その目的はなんであるかを概観し、どのような方針に基づいてセキュリティ管理を設計すべきかを述べます。</p> <p>11:00～11:10 休憩</p> <p>11:10～12:30 パネル「情報家電のセキュリティ」 モデレータ 本越一朗(JPCERT/CC)</p> <p>情報家電をはじめとする、ユーザにコンピュータやネットワーク機器であることを意識させずにIPでインターネットに接続する機器のセキュリティの現状と今後について議論し、問題意識の共有をはかります。</p> <p>12:30～14:00 昼休み</p> <p>14:00～15:00 基調講演「サイバー犯罪の現状と対策」 警察庁生活安全局情報技術犯罪対策課課長補佐・警察庁技官 志田和彦 氏</p> <p>情報犯罪が日々進展するのに対し、これを悪用したサイバー犯罪についても、フィッシングを始めとする多様な手口が日々新たに発生しています。こうしたサイバー犯罪の現状と、それに対する警察等の取り組みについて紹介します。</p> <p>15:00～15:10 休憩</p> <p>15:10～17:10 パネル「国内における観測系の活動の紹介とその活用方法」 モデレータ 佐藤友治(JNSA) パネリスト (順不同)</p> <p>伊藤 耕 氏 (警察庁サイバーフォースセンター) 内山 友弘 氏 (IPA セキュリティセンター) 鈴木 隆徳 氏 (WCLSDIAN) 伊藤 求 氏 (JPCERT/CC) 馬場 俊輔 氏 (Telecom-ESAC Japan)</p> <p>国内で観測系の活動を行っている団体のそれぞれの活動内容を、主に技術的な側面から紹介するとともに、その観測結果の活用方法を紹介します。また各団体の連携について議論します。</p> <p>17:10～17:15 閉会挨拶</p> <p>18:00～20:00 セキュリティホール memo BoF ※BoF 0.0の参加は無料です。</p>
対象者	セキュリティ担当者 (特にインシデント対応で悩んでいるエンジニア)およびセキュリティ全般に興味のある方
問合せ先	E-mail info@jnsa.or.jp

基調講演とパネルの変遷

年	種	講演者	タイトル
2003	基	山口英	セキュリティ管理と高信頼性組織の構築
	基	牧野二郎	法律から見たITセキュリティ
2004	基	山口英	変化するセキュリティ管理の実情
	基	吉田(警察庁)	サイバー犯罪の現状と対策
	パ	水越(JPCERT)	情報家電のセキュリティ
	パ	佐藤(IRI)	国内における観測系の活動の紹介とその活用方法
2005	基	岡谷(NISC)	インシデントレスポンスの次に来るものは何か？
	パ	西本(ラック)	Webセキュリティに何が必要か
	パ	高橋(ISS)	ボットネット対策
2006	基	山口英	わが国の情報セキュリティ政策の方向性
	パ	高橋(MS)	徹底討論 ボットネット第3弾

2006年12月7日(木)



インシデント調査に見る脅威の実態

- 人間世界の変わらぬ脅威がインターネット上で起こっている
- JNSAセキュリティ被害調査WGリーダ
株式会社ディアイティ 山田英史氏
- 「本質を見る！」
- リスク評価などの
ガイドライン作成



最近のセキュリティ動向と組織的な インシデント対応体制 CSIRT

- Computer Security Incident Response Team **がすべきこと**
- JPCERT/CC 早期警戒グループリーダ
情報セキュリティアナリスト **名和利男氏**
- **国際協力**
- My Security is depending
on your security



結果発表Antinnyモグラたたき大作戦！

- ローテク・ハイスキル!?!なDDoS攻撃対策の効果はいかに
- Telecom-ISAC Japan企画調整部副部長
小山覚氏
- インターネット・シンドローム
中毒
- PCのお掃除をすると良い？



徹底討論 ボットネット第3弾

- いよいよ動き出したボットネット対策の全容
- マイクロソフト 高橋正和氏
NTTコミュニケーションズ 小山覚氏
ラック 川口洋氏
トレンドマイクロ 平原伸昭氏
JPCERT/CC 伊藤友里恵氏
- 事象だけではなく、全体図を見た上で対策をとる



わが国の情報セキュリティ政策の方向性

- 基調講演
- 内閣官房情報セキュリティセンター (NISC)
情報セキュリティ補佐官 山口英氏
- International と Global
- 時間延長して熱い議論
- まだまだ理解の共有が足りない！



セキュリティホールmemo BoF

- 今年も大盛況
- 本音・過激な話が満載？
- こんな話が望まれている？



2006年プログラムの概要

- インシデント調査、CSIRT、Antinny、Botnet
- 本質を見る！
 - 全ての講演で言われていた
 - インターネット・シンドローム / 中毒
 - 全体を見通す眼力が必要
 - 事象だけではなく、全体を見て対策する
- International と Global の違い
 - 国家の考え方と企業体のやり方

これからのSecurity Day

- いろいろな意見や議論があると思うので、本音でのディスカッションをしてゆきたい。
- いつまでもセキュリティしなければならない？
- 自動車も安全に利用するためには...
- 今日の時間がこれからを作る？
- ぜひご意見をお願いします。(_ _)

次のSecurity Day

- 来年からは、新たに**お色直し**をして再出発？
- まだまだやること、一緒にやらなければならないことは沢山ありそう。問題意識の共有
- やはり講師と聴衆ではなく、**めだかの学校**がよい。本音のディスカッションをしましょう！

連絡先

NPO日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)

sec@jnsa.org

有限責任中間法人 JPCERT コーディネーションセンター

TEL : 03-3518-4600

Telecom-ISAC Japan

<https://www.telecom-isac.jp/contact/>